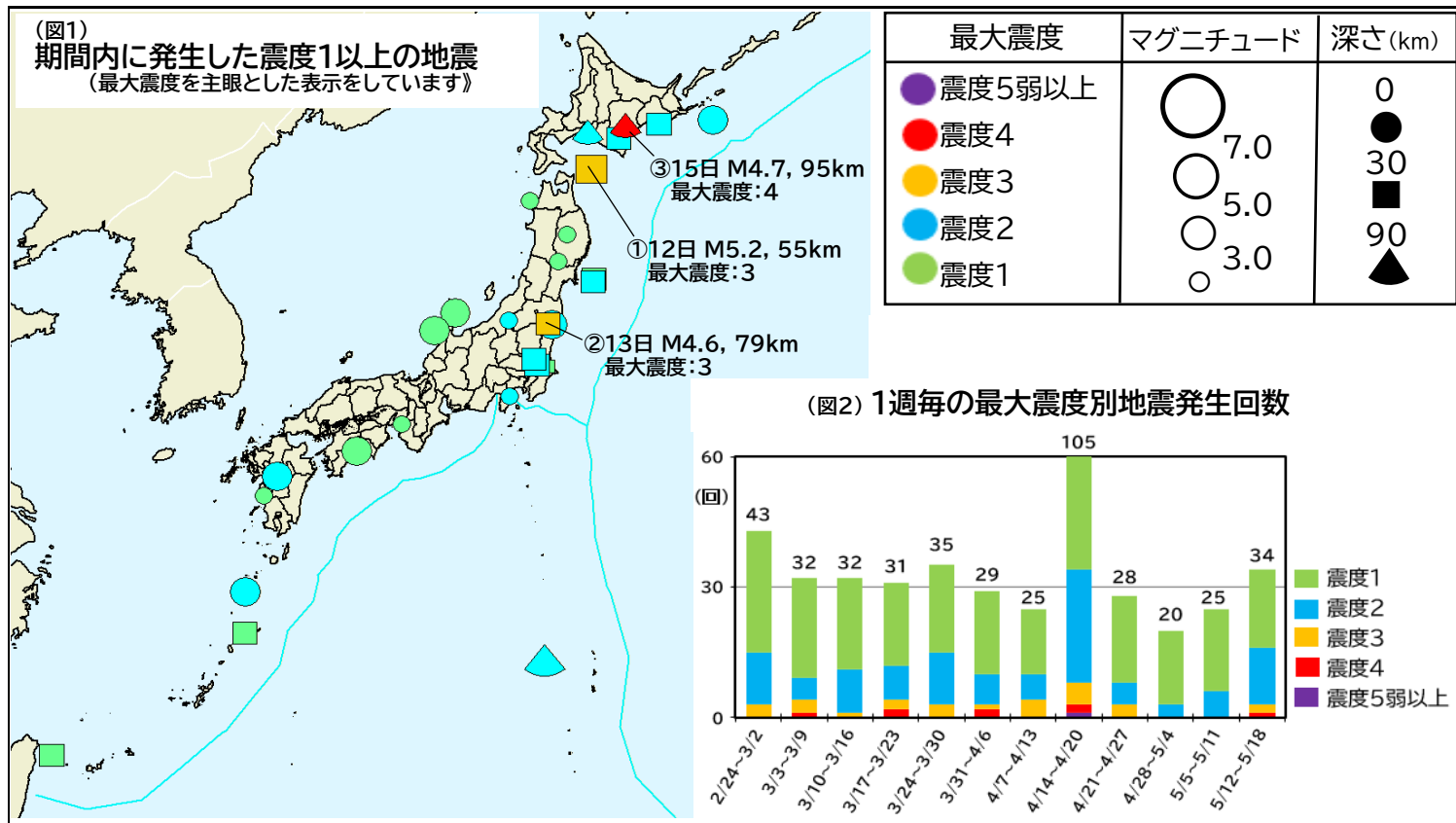


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が34回発生。最大震度は4。 ■

- ①5月12日23時54分に青森県東方沖で発生した地震(M5.2、深さ55km)により、青森県階上町・東通村、北海道函館市で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2~1を観測。
- ②5月13日10時37分に福島県中通りで発生した地震(M4.6、深さ79km)により、福島県郡山市・白河市・いわき市など、茨城県大子町、栃木県大田原市などで震度3を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて震度2~1を観測。
- ③5月15日22時05分に十勝地方中部で発生した地震(M4.7、深さ95km)により、北海道浦幌町で震度4を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 十勝地方の深い所で発生した地震 ■

- ・地震が発生した場所(震源)の深さによる分類として、浅発地震、深発地震などの呼び方があり、震源が深い所で発生する地震を深発地震と呼んでいます。
- ・しかし、浅発地震や深発地震についての明確な定義はなく、深さ60km程度より浅いところで発生した地震を「浅発地震」、深さ60km程度から200km程度までの地震を「やや深発地震」、それより深いところの地震を「深発地震」と呼ぶことが多いようです。
- ・この定義によると15日に最大震度4を観測した十勝地方中部の地震は、「やや深発地震」と分類されることになります。
- ・やや深発地震のような深い所で発生する地震は、プレートの内部で発生しており、このような地震は海溝から遠くなるにつれて震源が深くなります(図3、図4)。
- ・15日に発生した地震による最大震度は震源から離れた浦幌町のみであり、震度3を観測した地点はありませんでした。これは、震源が深いことと震度観測点近傍の局地的な地盤の影響によるものと考えられます。
- ・1997年以降にこの周辺で発生した、やや深発地震で主なものに以下の事例があります(図3、図4)。
- ・2013年2月2日23時17分に十勝地方南部の深さ102kmでM6.5の地震(最大震度5強:浦幌町、釧路市、根室市)により、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じました(総務省消防庁による)。
- ・2015年8月14日13時43分に十勝地方中部の深さ80kmでM5.1の地震(最大震度4:浦幌町)が発生しました。

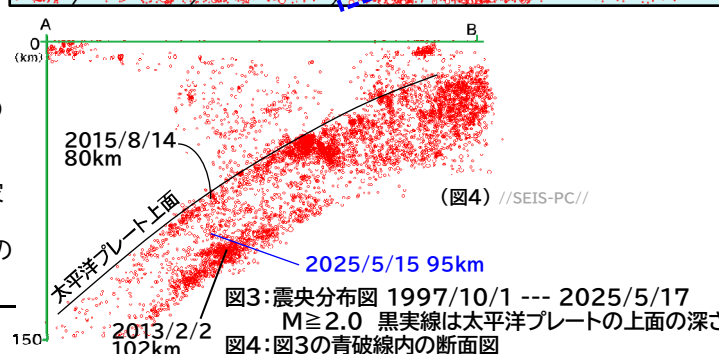
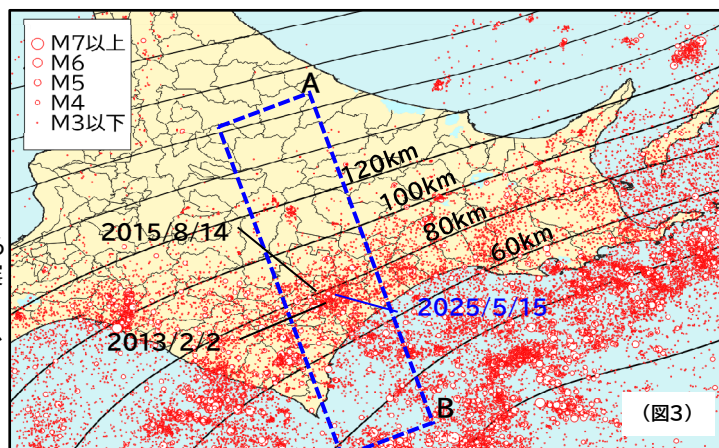


図3:震央分布図 1997/10/1 --- 2025/5/17
M $\geq$ 2.0 黒実線は太平洋プレートの上面の深さ
図4:図3の青破線内の断面図